

2025年3月期

決算説明資料

2025年5月9日

日特建設株式会社

©2025 NITTOC Co.,Ltd.

Message

見えないところにこそ、私たちのプライドがある

社是

私たちは、見えないところにこそ、
誠実に技術を提供して、社会から必要とされる
企業であり続ける

経営理念

Mission

- 使命

安全・安心な国土造りに
貢献する会社

Value

- 価値観

基礎工事における総合技術力と
効率的な経営

Vision

- あるべき姿

信頼される技術力に培われた、
環境・防災工事を主力とした
基礎工事のエキスパート

1	連結 業績サマリー	P4～5
2	連結 売上高総利益率	P6
3	連結 工種別推移	P7～9
4	連結 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書	P10
5	連結 業績予想	P11
6	トピックス	P12～15
7	研究開発活動	P16～17

1-①.連結業績数値 サマリー (単位：百万円)



◆ 受注高：前期比105%

法面の大型工事や能登半島地震の災害復旧・復興工事などにより増加。

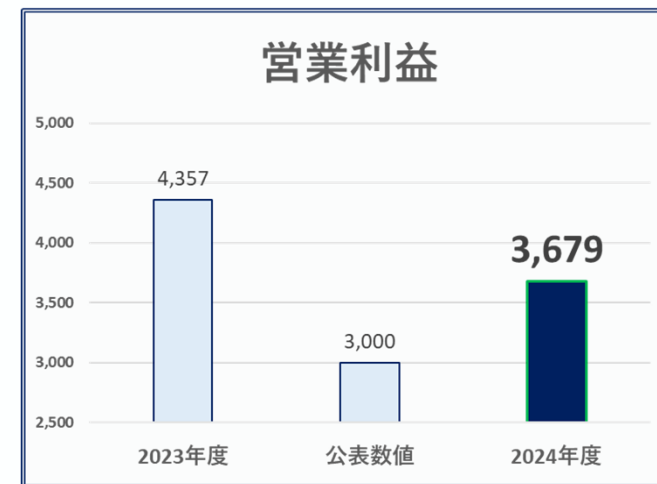
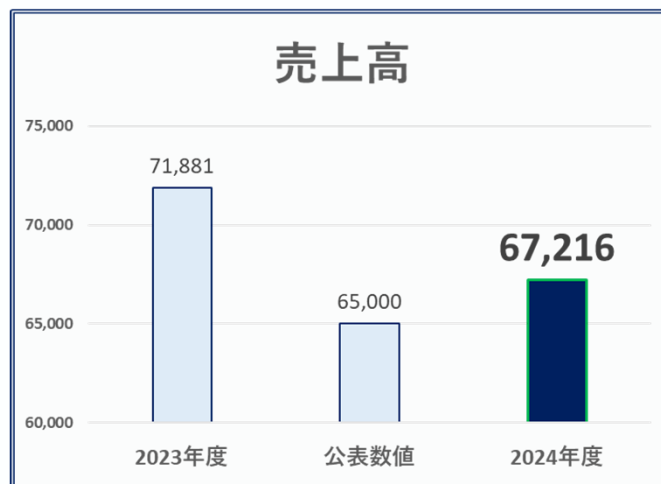
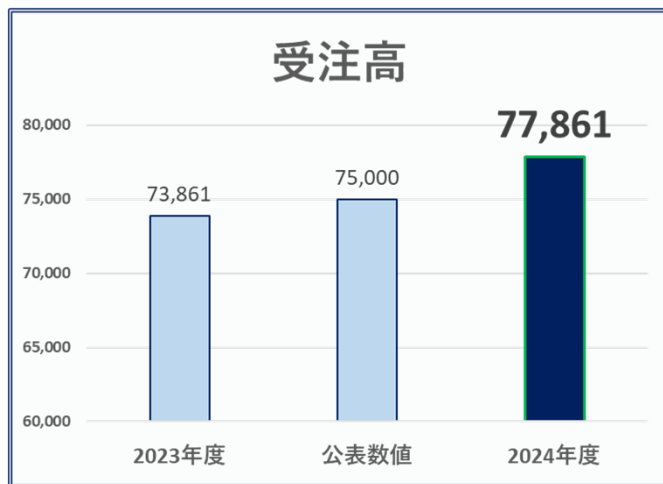
◆ 売上高：前期比94%

期首に当期に寄与する手持ち工事が少なかったことによる上期の売上高不足と能登半島地震の災害復旧・復興工事の着工遅れなどの影響で前期比6%減。

◆ 営業利益：前期比84%

前期にあった不採算工事の抑制により、採算性は改善するも、売上高の減少および社員給与の増加と麻生フォームクリート株式会社を2025年2月に子会社化した際の諸費用等による販売費及び一般管理費の増加により前期比減少。

※当期の取り組みは、P.11をご覧ください。



1-②.連結業績数値 サマリー (単位：百万円)

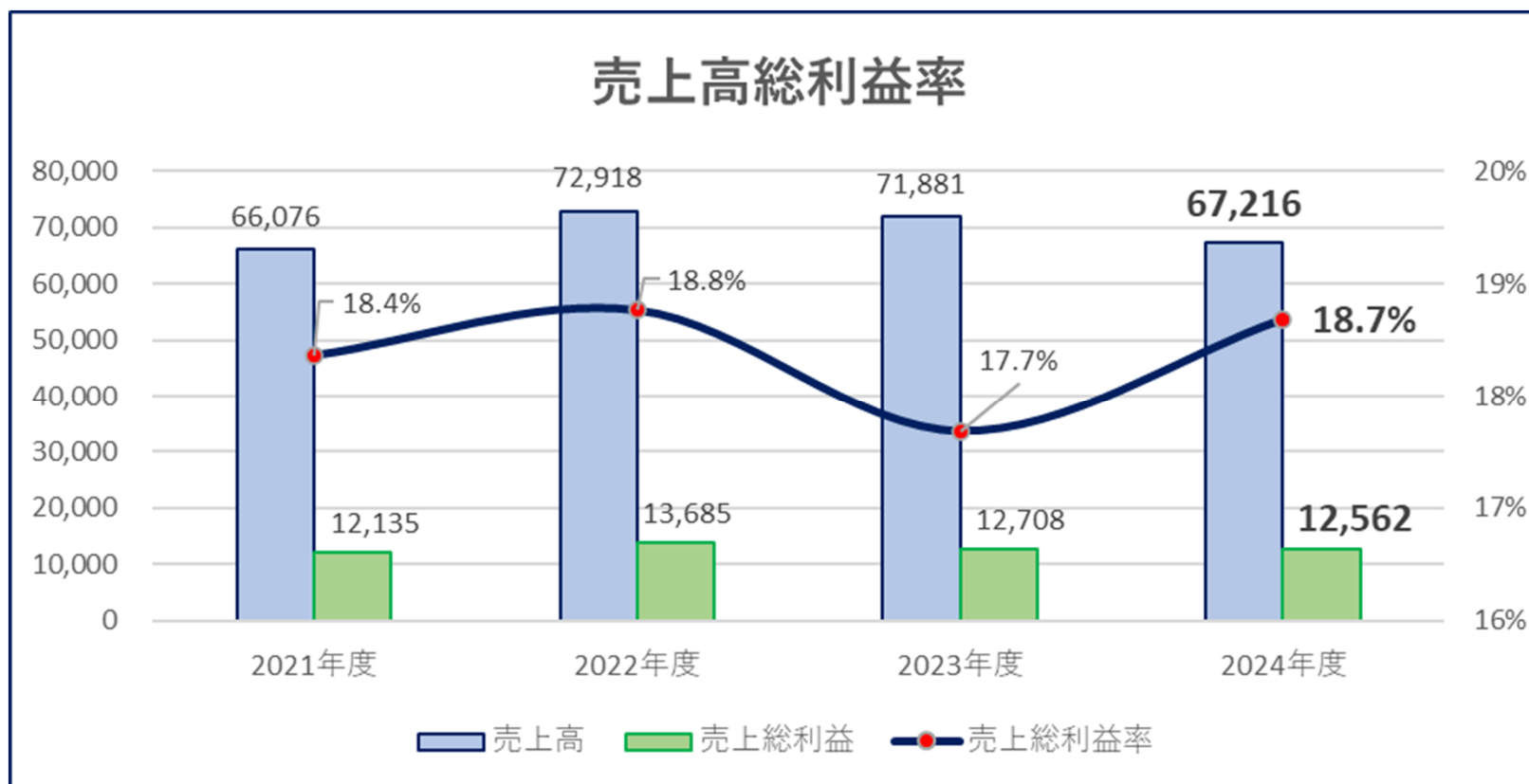


連 結	2023 年度	公表数値 (修正)	2024 年度	対前年		対公表	
				差異	%	差異	%
受注高	73,861	75,000	77,861	3,999	105%	2,861	104%
売上高	71,881	65,000	67,216	△ 4,665	94%	2,216	103%
完成工事 総利益	12,708	11,800	12,562	△ 146	99%	762	106%
販管費	8,352	8,800	8,883	532	106%	83	101%
営業利益	4,357	3,000	3,679	△ 677	84%	679	123%
経常利益	4,397	3,100	3,764	△ 634	86%	664	121%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,066	1,800	2,427	△ 639	79%	627	135%

2.売上高総利益率（単位：百万円）

売上高総利益率：18.7%（前期比1.0%ポイント良化）

2023年度にあった不採算工事による採算性の低下を改善、2022年度並みの売上高総利益率に回復。



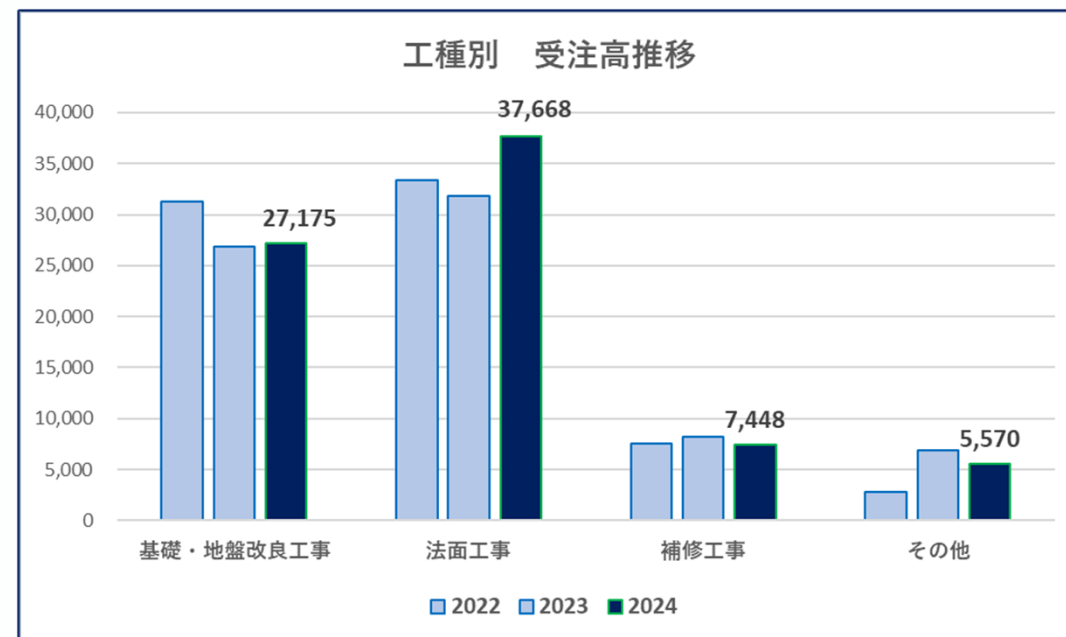
3-①.連結 工種別受注高（単位：百万円）



基礎・地盤改良工事：272億円（前期比101%） 法面工事：377億円（前期比118%）

基礎・地盤改良工事は前期比微増（1%増）でしたが、法面工事は、大型工事、能登半島地震の災害復旧・復興工事の受注により、前期比18%増となり、全体では、前期比5%増となりました。

連結 受注高	2022 年度	2023 年度	2024 年度	対前期	
				増減	%
基礎・地盤改良工事	31,263	26,885	27,175	290	101%
法面工事	33,397	31,820	37,668	5,849	118%
補修工事	7,519	8,249	7,448	△ 801	90%
その他	2,824	6,908	5,570	△ 1,338	81%
合計	75,003	73,861	77,861	4,000	105%



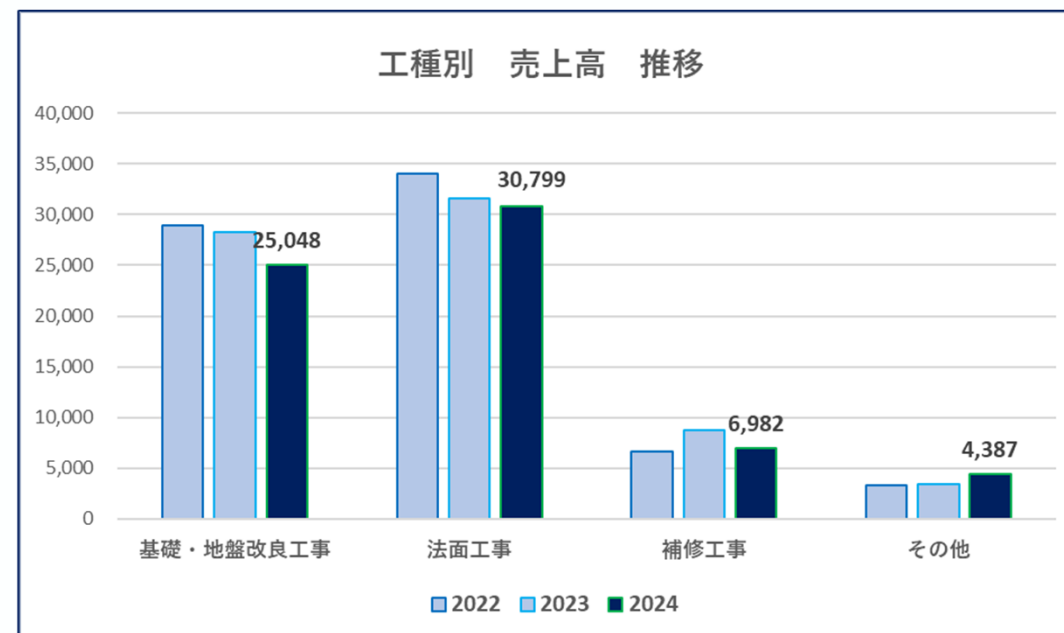
3-②.連結 工種別売上高（単位：百万円）



基礎・地盤改良工事：250億円（前期比89%） 法面工事：308億円（前期比98%）

地盤改良工事、法面工事ともに、当期に寄与する手持ち工事が少なかった影響で、前期比94%。

連結 売上高	2022 年度	2023 年度	2024 年度	対前期	
				増減	%
基礎・地盤改良工事	28,946	28,224	25,048	△ 3,176	89%
法面工事	34,056	31,554	30,799	△ 755	98%
補修工事	6,606	8,734	6,982	△ 1,752	80%
その他	3,310	3,368	4,387	1,019	130%
合計	72,918	71,881	67,216	△ 4,664	94%



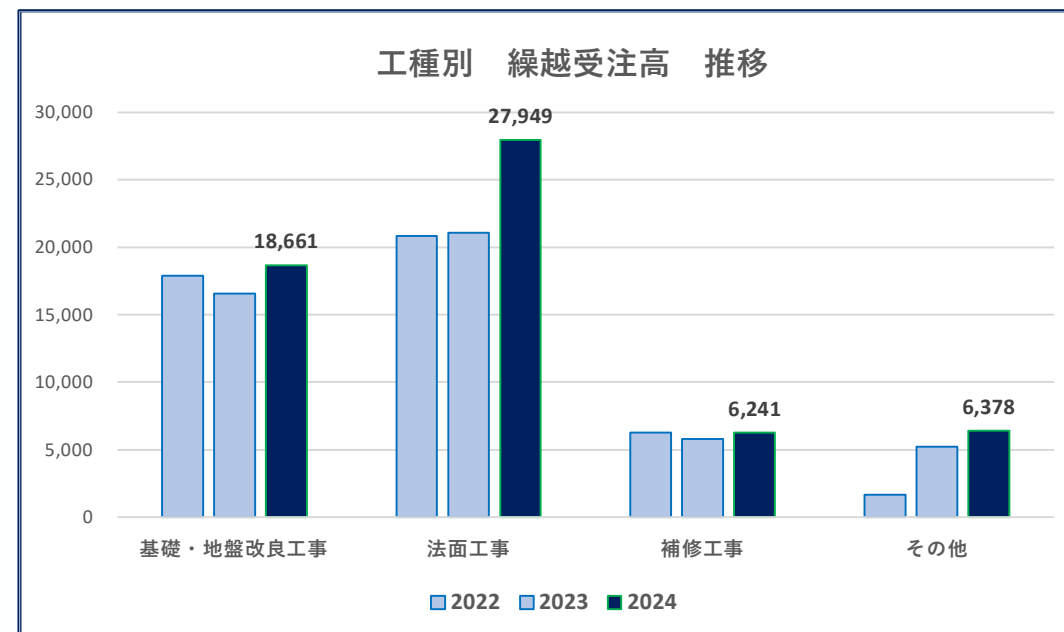
3-③.連結 工種別繰越受注高（単位：百万円）



基礎・地盤改良工事：187億円（前期比113%） 法面工事：279億円（前期比133%）

基礎・地盤改良工事が前期比13%増、法面工事が同33%増、その他（海外の大型土木工事など）同23%増となり、同122%の繰越受注高を確保。

連結 繰越受注高	2022 年度	2023 年度	2024 年度	対前期	
				増減	%
基礎・地盤改良工事	17,894	16,534	18,661	2,127	113%
法面工事	20,813	21,079	27,949	6,870	133%
補修工事	6,260	5,775	6,241	466	108%
その他	1,635	5,195	6,378	1,183	123%
合計	46,602	48,583	59,228	10,645	122%



4.連結 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）



	2024年 3月期	2025年 3月期
流動資産	42,222	40,342
うち、現金預金	19,644	18,151
うち、受取手形・完成工事未収入金等	20,971	20,191
うち、未成工事支出金	235	349
固定資産	12,202	16,603
有形固定資産	6,598	9,879
無形固定資産	557	476
投資その他の資産	5,046	6,247
資産合計	54,425	56,946
流動負債	16,422	17,368
うち、支払手形・工事未払金等	12,133	12,359
うち、未成工事受入金	980	1,258
固定負債	3,964	4,830
負債合計	20,387	22,199
純資産の部	34,037	34,747
負債純資産合計	54,425	56,946

	2023年	2024年
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,422	4,513
うち、税金等調整前当期純利益	4,503	3,733
うち、減価償却費	781	868
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,287	△ 4,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,965	△ 1,961
うち、配当金の支払い額	△ 1,958	△ 1,960
現金及び現金同等物残高	19,644	18,151

5.連結 業績予想（単位：百万円）



連 結	2023 年度 実績	2024 年度 実績	2025 年度 予想	対前年		対前々年	
				差異	%	差異	%
受注高	73,861	77,861	77,000	△ 862	99%	3,139	104%
売上高	71,881	67,216	76,000	8,783	113%	4,119	106%
完成工事 総利益	12,708	12,562	14,700	2,137	117%	1,992	116%
販管費	8,352	8,883	9,700	816	109%	1,348	116%
営業利益	4,357	3,679	5,000	1,320	136%	643	115%
経常利益	4,397	3,764	5,000	1,235	133%	603	114%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,066	2,427	3,350	922	138%	284	109%

2025年3月期の売上高と利益が減少した主な要因は、期首時点で当期に寄与する手持ち工事が少なかったため、上期の売上高不足を招いたことでした。この状況を受けて、2025年3月期後半には繰越受注高の確保に注力し、前年同期を上回る成果を達成しました。今後、この受注を基に施工を一層促進し、計画目標の達成に向けて取り組んでまいります。

6-①.トピックス（土木学会デザイン賞）

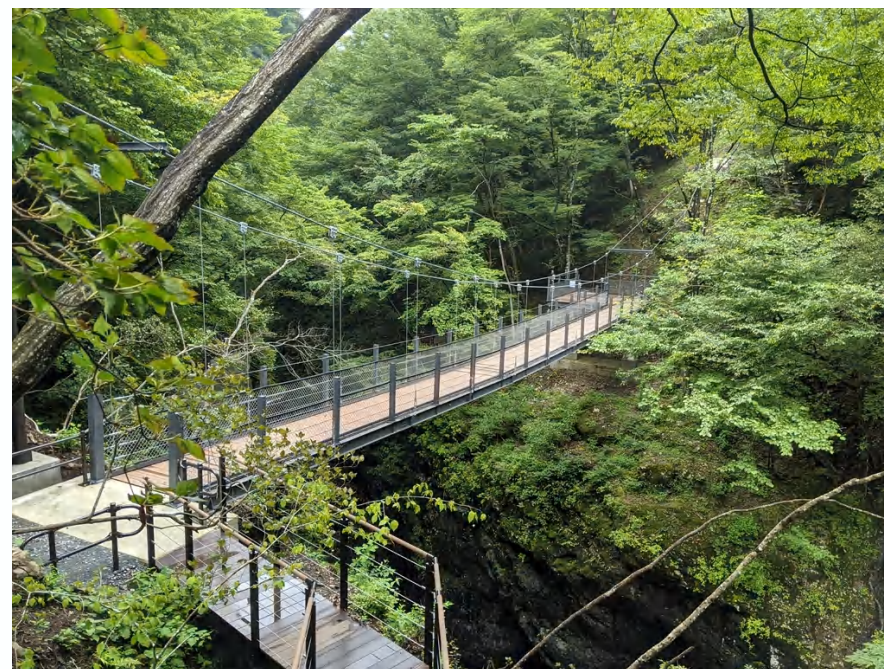
土木学会デザイン賞2024を受賞

土木学会デザイン賞は、公益社団法人土木学会景観・デザイン委員会が主催し、2001年に創設された顕彰制度です。優秀賞としてハッ場ダムが選定され、当社は関係組織（紅葉台橋梁施工）として表彰されました。ダム本体の下流にある吾妻峡と一体化する連携通路として整備した紅葉橋等の遊歩道整備に貢献しました。



ハッ場ダム

出典：国土交通省関東地方整備局 利根川ダム総合管理事務所



当社の受賞対象構造物：紅葉台橋梁

6-②.トピックス（海外工事において最優秀協力業者賞を受賞）



連結子会社であるPT.NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAで施工している「ジャカルタ都市高速鉄道 南北線延伸2期工事」CP201工区およびCP202工区が、PT.MRT JAKARTA（ジャカルタ特別州関連企業）より、安全に係る年間最優秀協力業者賞を受賞しました。海外においても現地のワーカーとコミュニケーションを取り、安全に配慮した高品質の施工を行っています。



賞状
上：CP201
右：CP202

インドネシアでの日本式の朝礼の様子



ラジオ体操により体をほぐすことで事故やケガを予防し、KY（危険予知）活動で労働災害や施工トラブルを予防しています。また、共通の活動を通じたコミュニケーションの活性化が図れます。

6-③.トピックス（災害復旧工事）

- 2020年7月の熊本豪雨により被災した球磨川の復旧工事（熊本県）

2020年7月初旬の梅雨前線の停滞により、九州中心に記録的な大雨となりました。熊本県の球磨川流域では、橋梁の流出や護岸・道路擁壁が各所で損壊しましたが、2015～19年にかけて当社が施工した親杭パネル壁工法は機能を保持していました。2021年度から被災した擁壁の一部を親杭パネル壁工法で復旧する工事が進められており、現在も復旧・復興に向けた工事が進められています。

発注者：国土交通省 九州地方整備局 八代復興事務所



6-④.トピックス（法面保護工事）



・ 新設自動車専用道路（島根県出雲市 湖陵IC）

出雲・湖陵道路は、国道9号の混雑緩和のため、2008年度より事業着手され、2025年3月に開通しました。当社は湖陵インターチェンジの切土法面の斜面对策を行いました。



工事名：令和5年度出雲湖陵道路湖陵IC法面工事
発注者：国土交通省 中国地方整備局
注文者：株式会社中筋組

・ 造成事業（愛知県西尾市）

工業用地造成事業において、切土・盛土面への繊維吹付工および繊維モルタル吹付面への緑化工を施工しています。



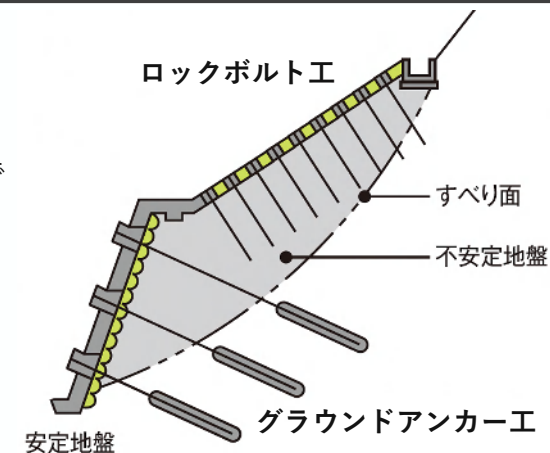
工事名：用地造成事業西尾次世代産業地区整地工事
発注者：愛知県企業局
注文者：三井住友建設株式会社

7-① 研究開発活動 ICTを用いた削孔管理技術



当社の得意とする斜面对策工のうち、グラウンドアンカー工やロックボルト工は、非鉛直施工がほとんどで、削孔長や削孔角度の管理に多くの手間を要しています。

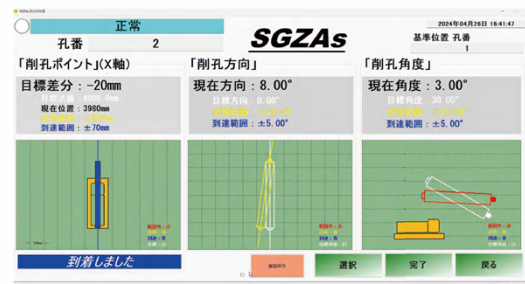
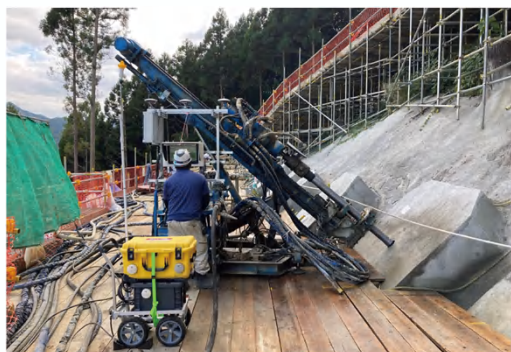
そこで当社はICTを用いた削孔技術を開発しました。これにより、人力による測量・据付作業が大幅に削減でき、現場管理作業の省力化が図れるほか、ヒューマンエラー等の施工トラブル防止も期待できます。



削孔機マシンガイダンスシステム 「SGZAs (スグザス)」 「ドリルコンパス」

グラウンドアンカーやロックボルトを設計通りに施工できるよう、削孔機を誘導するマシンガイダンスシステムです。

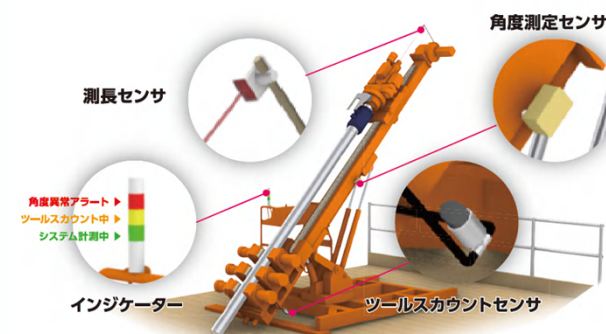
衛星測位および傾斜センサを用いた「SGZAs」と、高精度ジャイロセンサを用いた「ドリルコンパス」を、現場条件により選択します。



削孔計測システム「DLAMs (ドラムス)」

各種センサにより削孔長と削孔角度をリアルタイムでモニタリングし、表示するシステムです。

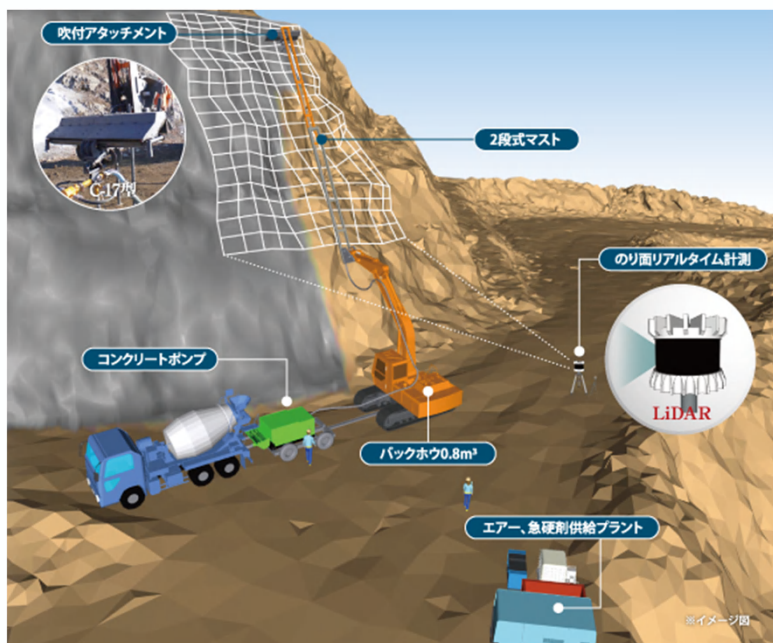
削孔状況はスマホで確認できます。



7-② 研究開発活動 法面吹付工の自動化技術

法面吹付工は、従来、人力による吹付を行ってきました。「スロープセイバー」は、吹付アタッチメントとバックホウを用いたロボット施工により、大幅な生産性の向上が期待できる吹付工法です。

現在、遠隔化・小型化・高精度化に取り組んでいます。



吹付アタッチメントとバックホウを用いたロボット施工を実現。LiDARによるリアルタイム吹付厚測定を組み合わせています。

遠隔の操作室からWi-Fiを介して、また、ゲームコントローラーを使って無人のバックホウを動かし、模擬法面に吹き付けを実施しました。



上：ゲームコントローラーによる操作
右上：操作室からの遠隔操作（ジョイスティック）

